

## 観音寺市教育委員会

## 観音寺市立栗井小学校

## 1 実践のテーマ

保護者や地域の思いを理解し、ふるさと栗井を大切にする栗井っ子の育成

## 2 目標

郷土について深く学び、郷土に対する愛着や誇りを育むことで、保護者や地域とつながりながら地域の一員であるという自覚をもつことができる。

## 3 内容

## ① 郷土を学びの対象とした学習の充実

○全校で取り組む学習

- ・あじさい祭りの作品作り(図画工作科)
- ・とうとうばやしの作品作り(書写)、行事参加(生活・総合)

○学年ごとに取り組む学習

- ・2年：公民館の見学を行い、「いきいきサロン」の方と折り紙などで交流。(生活科)
- ・3年：郷土読本『あわい』で「おなぎさん」について学習したことを発表。(総合)  
：地域の防災についての学習で、消防団の屯所を見学。(社会科)

## ② 郷土に対する愛着や誇りの育成

○とうとうばやしへの参加(全校生)

1月15日には、年中行事でもある栗井地区のとうとうばやしに全校生で参加している。書の上達を願い、一人ひとりが書いた作品を持ち、栗井神社で行われる行事に参加する。地域の方とともに、地域に伝わる伝統行事について知り、実際に体験することができる。

○菩提山登山(4年生)

4年生は、校歌の歌詞にもある「菩提山」に毎年登山している。地域の方の力を借りて登山道が整備され、頂上までの数カ所には卒業生が製作した道案内の看板も設置されている。学校教職員と共に、地域学校協働本部「おなぎ隊」の方も一緒に登り、子どもたちの安全を見守ってくれている。

これらの行事を継続することが、子どもたちに地域への愛着や誇りをもたせ、自分たちも守り、継承していこうとする意欲を育むことにつながっている。

## 4 成果と課題

小規模校ではあるが、学校教育には関心の高い地域であり、学校や子どもたちへの期待を強く感じる。その思いに応えるため、子どもたちに自分は地域の一員であるという自覚を持たせることができた。地域の協力が欠かせないため、学校から依頼することが多いが、「してもらう」だけでなく、地域に学校が貢献することで地域とのつながりをさらに強固にしていきたい。



【とうとうばやし】



【登山道・案内看板】



【菩提山登山(4年生)】